

Iwakura
International
Exchange
Society



岩倉市国際交流協会

第49号

2005年11月15日

国際交流協会セミナー **アイルランドミュージックと国際協力を考える午後**

岩倉市国際交流協会では、「アイルランドミュージックと国際協力を考える午後」と題して、近年人気のアイリッシュ音楽を取り上げ愛知県内で活躍中のアイリッシュミュージックバンド「ナルサ」とケルティック・ハーブ奏者、澤田真弓さんのコンサートを行います。その後、国境なき医師団(MSF)の派遣経験者のお話を聴く会を計画しています。具体的なことは、まだお知らせできませんが、ご期待下さい。国境なき医師団の活動、派遣地での活動や生活の様子、現地の人々の生活、そして、自分自身の生き方など、多くの考えさせられるお話が伺えるのではと期待しています。ぜひ12月4日は「アイルランドミュージックと国際協力を考える午後」に是非ご参加ください。

日 時 12月4日(日) 13:00-15:30

会 場 みどりの家 岩倉市中央町二丁目20 電話0587-66-6700

参加費 無料 誰でもご参加できます。

アイリッシュミュージックバンド 「ナルサ」 **Nalusa**

ナルサは10年前に結成されて以来、名古屋のアイリッシュパブや音楽クラブなどで演奏を行いその名声を作りあげました。ナルサは、4人の音楽家、そして2人のアイリッシュダンサーの合計6名で演奏を行っています。フィドル(アイルランドのバイオリン)やパウローン(アイルランドの伝統的な片手で持つドラム)、チンホイッスルなど様々なアイルランド伝統音楽器を用い音楽を奏でます。

澤田真弓さん ケルティック・ハーブ奏者

ケルトの民謡、特にハーブを使った音楽に興味があり、1996年よりハーブを始める。自分本来の生き方を考えた時、音楽をやりたい事に気づき、2003年より演奏活動を始める。心より楽しんで自分本来の音が出せることを目指して現在はサロンなどでのコンサート活動をおこなっています。



地球博で演奏中のNalusaの皆さん

国境なき医師団をご存じですか。

国境なき医師団(MSF)は営利を目的としない国際的な民間援助団体です。1971年にフランスで設立され、医療援助を専門に活動を行っています。年間約3,000人の医師、看護師、助産師らが世界約70ヵ国で援助活動を続けています。

先日のパキスタンやスマトラ沖の地震の時も世界中から医療関係者が駆けつけています。日本からも100人以上の医師がボランティアで援助のために出かけていっています。安定した高収入の職場を辞め、自ら紛争の地や災害後へ赴く日本人がいるということに感動を覚えます。

会費の納入と新規会員勧誘のお願い

岩倉市国際交流協会の事業は、会員皆様の会費と岩倉市からの補助金で運営されています。皆様からの会費の納入がないと事業実施ができなくなりますので、是非とも会費の納入をお願いいたします。また新規会員も受け付けています。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金1016300 岩倉市国際交流協会 会計 大橋まり子
会費 家族会員3口以上、ジュニア会員1口以上、団体会員10口以上(1口は千円)です。

問合先 内藤 0587-66-7347 中山 0587-66-8573 三浦 0586-87-1077 大橋 0587-37-7117

■事業活動紹介■

ジュニアスタッフ報告「デイキャンプ」

2005年8月18日(木)ジュニアスタッフ企画の国際親善デイキャンプを行いました。中高生24名が岐阜県郡上市のひるがの高原キャンプ場集まりました。貸し切りバスをチャーターし、朝8時に岩倉市役所前を出発。途中は雷も鳴る大雨、どうなることかと心配しましたが、ひるがのに着くと雨は小雨になっていました。バーベキュー場は屋根があり、そこでバーベキュー開始。なかなか火がつかないグループや、火が強すぎて真っ黒になったグループや、いろいろありましたが、困難に知恵を出し合って対処する内にすっきりうち解けて仲間になっていきました。

フランク(USA)・アシュリー(USA)・シュウメイ(マレーシア)・ピビエン(オーストリア)の4名の外国からのゲストもとても楽しんでいました。バーベキューが終わった頃には雨もやみ、ゲームを楽しむことができました。震源地(人の真似をするゲーム)、がっちゃんこ(鬼ごっこの一種)などをして、汗を流しました。一緒にバーベキューを作ったり、ゲームをする中で、国籍や年齢を超えて初対面の人とも仲良くなることができました。



岩倉市中学生海外派遣団発表会「青春！オーストラリアの旅2005」

今年も岩倉市国際交流協会は、岩倉市から中学生海外派遣事業を委託され、8月22日～29日にかけて岩倉市中学生海外派遣団の14名の中学生が、オーストラリアのヒルズ学園へと行ってきました。帰国後14名は、9月18日(日)くすのきの家にて「青春！オーストラリアの旅2005」と題して、ヒルズ学園での学校生活の様子についてスライドをお見せしながら紹介し、ホームステイの感想、そして学園での交流会で作った料理をみんなで披露しました。その料理を派遣生たちと協会の



メンバーとで一緒に作り、発表会のあとで料理とお茶を囲んでのティーパーティを行いました。料理はとっても甘いハニー・オート・バー、ピザ、クラッカーにクリームチーズとオーストラリアで買ってきたデジマイトをつけていただきました。個人的な訪問の話も聞きながらの楽しい交流会となりました。出かける前に合宿も含め4回の研修で準備し、そして7泊8日オーストラリアで不安と期待の中で過ごした14名の仲間たちです。友情も深まり、チームワークよく発表ができました。

万博メモリアル (走った！並んだ！見た！食べた！感動の6ヶ月)

主催 岩倉市 主管 岩倉市国際交流協会

今から思うと、あの愛・地球博の熱狂は何だったのかな？と思えるこの頃になりました。さまざまな形で万博に関わられたNPOの皆さんの活動結果、また参加された皆さんの胸にも、様々な思いを残して過ぎていった大きなイベントでしたね。

そんな中、万博の終わった次の土曜日、10月1日(土)岩倉市のくすのきの家にて「万博メモリアル 走った!並んだ!見た!食べた!感動の6ヶ月」を開催しました。まだ万博の熱気の残る中、およそ90名の方がご来場いただきました。

最初に竹内正実氏とマトリョシカアンサンブル「マーブル」の皆さんの愛・地球博でも演奏された、ロシアで最古の電子楽器テルミンの幻想的な音楽は、どこかもの悲しくもあり、美しいアンサンブルでした。また竹内氏の絶妙な説明と会話にとても良い時を過ごすことができました。そして今回のメインイベントのトークショー、中京テレビ



インキャスタ、神ひろし氏&高橋重憲氏の「万博を伝えた185日間」では二人の飽きさせない会話から、臨場感溢れる万博の裏話や、そこで活躍した人たちの姿を感じることができました。そして最後にはフレンドシップ・フィルム・

フェスティバル参加、キューバ人監督が岩倉で作った映画“De a i”(出会い)の試写会とまさに終わっても万博三昧の一日でした。

ホームステイと市民体育祭参加の感想

10月1日~2日は「万博メモリアル」「市民体育祭参加者交流パーティ」「市民体育祭参加」盛り沢山のイベントがありました。ホームステイをしてこれらのイベントに参加した外国人ゲストのホストファミリーお二人の方からの感想です。

ホスト：森崎さん(江南市)

ゲスト：セサさんとマヌエルさん(共にメキシコ、男性、CBIC(JICA)研修生)

毎年、JICAのメンバーが岩倉市民体育祭に参加しています。今回、私もお二人の方をホームステイで引き受けました。初めは一人の予定でしたが急に二人になり、かえって楽しさも倍増したようです。

お二人はとても陽気なおもしろい人で、冗談を言ったり二日間ずっと笑って過ごしていました。メキシコにおられるご家族とパソコンで交信し、歌まで交換するという盛り上がりようで、おかげで体育祭には遅刻してしまいましたが、そのあとテントの中でいろんな人とお話したりして、楽しいひとときでした。前夜祭のパーティでも出し物などに感動したりで、主人と楽しく参加させていただきました。とてもいい交流が持てたことに感謝しています。



ホスト：鳥喰(とりばみ)さん(岩倉市)

ゲスト：マリソルさん(メキシコ、女性、CBIC(JICA)研修生)

私がホストファミリーを体験したのは今回が二度目。前回はとてもシャイなイギリス人の男の子だ

ったのに対し、今回は太陽がガンガン照りつける国だけあって！？明るく陽気でおしゃべり好きなメキシコの女の子。日本の会社やビジネスに大変興味があり勉強しているようで、質問は深夜まで続き、それはまるでビジネス英会話教室…。友人も招き電子辞書片手に二人で必死に答え最後には、へとへとになりましたが本当にいい思い出です。そして翌朝「メキシコの朝食をどうしてもみんなに作ってあげたい！」と生地から手作りのトルティーヤをごちそうになりました。忙しいスケジュールの中、朝食をごちそうしたい…とってくれた気持ちをとても嬉しく思いました。

ホストファミリーをすることによって、異文化を体験できる楽しさを毎回感じています。なかなか旅行では味わえないものなのかもしれません。今年はまだ素敵な思い出がひとつ増えました。

世界のお惣菜（平成17年度第2回…オーストリア編）

10月23日少し肌寒い小雨まじりの日曜日、公民館料理教室で、岩倉市国際交流員のビビエンさんからオーストリアの家庭料理を教わりました。

メニュー

- * **フリッターテンスープ**（刻んだイタリア風パンケーキを入れたスープ）
スープの中にパセリ・小口ねぎを入れ、食べる直前に薄く焼いたパンケーキを細く切って入れます。
- * **ケーゼシュペッツレ**（団子に玉ねぎとチーズをからめたもの）
小麦粉、卵で練った生地をまな板にのせ、切りながらお湯の中へ入れてゆがく。フライパンで玉ねぎをきつね色まで焼いたら、ゆがいた団子を入れ、チーズとスパイスをからめ、パセリをふります。「まな板から直接切りながら入れてゆがくのびっくり！ 団子がいろいろな形になりおもしろい！」
- * **ウィーナシュニッツェル**（ウィーン風仔牛のカツレツ）
パン粉をつけた薄切り肉（今回は豚肉）をフライパンに多めの油で焼きあげる。ゆでたジャガ芋とサラダとレモンを添えて！
- * **トップフェンクネーデル**（クリームチーズの団子風菓子）
クリームチーズ・小麦粉・卵で団子を作り、ゆでます。フライパンでバター、細粒パン粉、砂糖を炒め、団子にまぶし温めたプラムのコンポートをたっぷりかけます。プラムコンポートの酸味でとてもおいしい！

感想

身近にある小麦粉・卵・チーズでめずらしい料理が次々出来て感激！ 難しい名前の料理も思ったより手軽に作ることができ、美味しく、皆満足顔！ 楽しい料理教室となりました。

Dankeschön （ありがとう！）



会 報 COM49号（2005年11月15日）事務局 岩倉市新柳町3-21-2（内藤方）

発 行 岩倉市国際交流協会

TEL/FAX0587-66-7347

印 刷 大橋印刷

ホームページ <http://www.iies.info/>